

# 環境活動レポート



対象期間：平成 29年 6月 ～ 平成 30年 5月

(作成日:平成 30年 10月 1日)

株式会社 南建設

# 株式会社南建設

## I. 環境方針

### 〈環境理念〉

株式会社南建設は昭和25年創立以来、「人と自然にやさしい街づくりを考え、快適で豊かな地域社会の実現に寄与する」を柱とし、歩みつづけてきました。地域社会との協和を図り、従業員一人一人が環境に配慮した行動を実践し、環境負荷が少ない事業活動及び環境保全活動に積極的に取り組みます。

### 〈環境保全への行動指針〉

- ① 電力・化石燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
- ② 一般・建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルに取り組み、適正処理に努めます。
- ③ 水の使用量(排水量)の削減に努めます。
- ④ 地域や外部機関との交流を積極的に行い、環境社会活動に貢献します。
- ⑤ 環境関連法規制や当社が約束したことを厳守します。
- ⑥ この環境方針を全従業員に周知し、環境保全の意識の向上に努めます。
- ⑦ 製品・資材等のグリーン購入推進に努めます。
- ⑧ 使用資材の化学物質の適正な管理に努めます。

制定日：平成22年 6月 1日

改訂日：平成24年 1月 6日

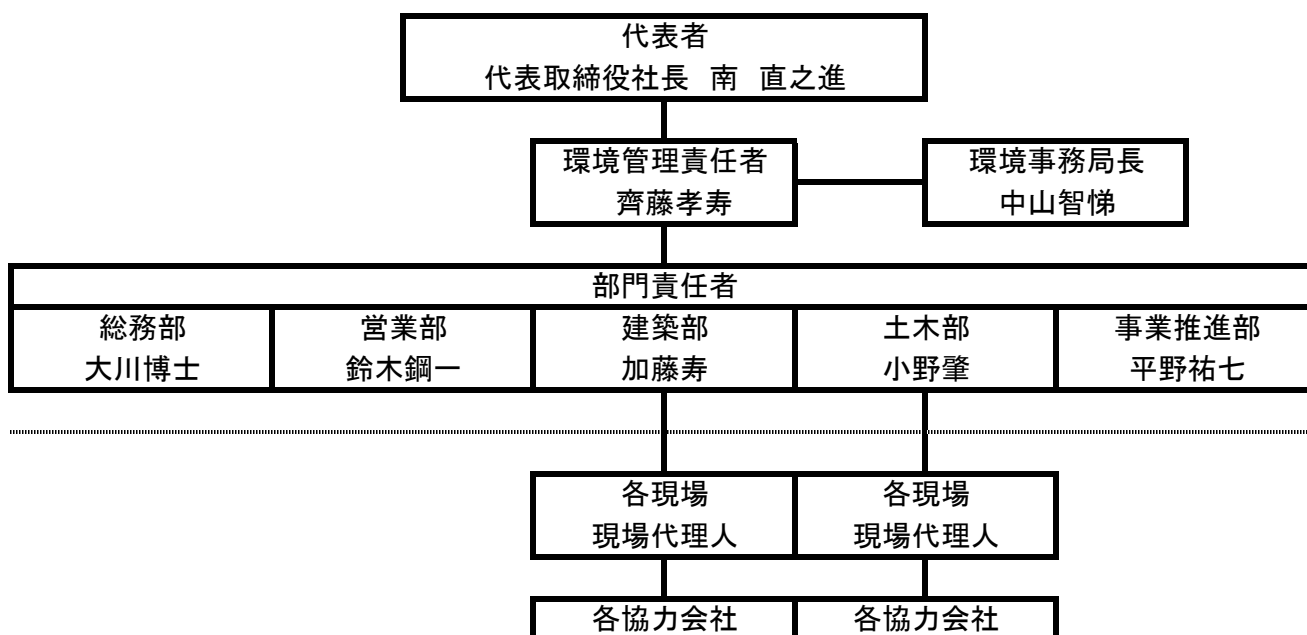
代表取締役社長 南 直之進

## II. 組織の概要

- 会社名：株式会社 南建設
- 代表者：代表取締役社長 南 直之進
- 住所：〒036-8052 青森県弘前市堅田一丁目1番地4
- TEL/FAX：0172-36-7000 / 0172-32-8558
- 環境管理責任者：齊藤 孝寿 連絡先 同上
- 設立：昭和25年4月
- 建設業許可：青森県知事 第2421号  
特定：土木工事/建築工事/とび・土工工事/石工事/屋根工事/鋼構造物工事/舗装工事  
しゅんせつ工事/塗装工事/防水工事/水道施設工事/解体工事  
一般：造園工事
- 建築士事務所：株式会社南建設一級建築士事務所 青森県知事 第204号
- 役職員数：58名
- 売上高：2,549,218千円（2018(平成30)年5月期）
- 資格者
  - ・一級建築士 1名
  - ・一級建築施工管理技士 11名
  - ・一級土木施工管理技士 19名
  - ・一級建設機械施工技士 2名
  - ・二級建築士 8名
  - ・二級建築施工管理技士 2名
  - ・二級土木施工管理技士 9名
  - ・二級建設機械施工技士 4名
  - ・二級登録経理試験 5名

### ● 対象範囲

本社	青森県弘前市大字堅田一丁目1番地4	延床面積	731.01m <sup>2</sup>
第2機材センター	青森県弘前市大字堅田一丁目1番地22	延床面積	1,770.90m <sup>2</sup>
第3機材センター	青森県弘前市大字堅田二丁目2番地9		
第5機材センター	青森県弘前市大字堅田二丁目2番地17		
鉄工所	青森県弘前市大字堅田二丁目3番地7	延床面積	951.00m <sup>2</sup>

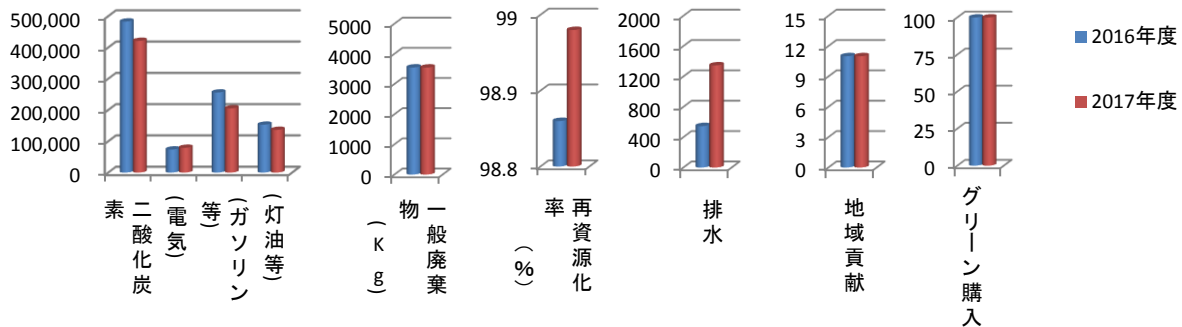


### Ⅲ. 環境目標とその実績

#### 1. 主な環境負荷の実績

【表1】…主な環境負荷等の実績

項目		単位	2016年度 (基準年度) (2016.6月～2017.5月)	2017年度 (2017.6月～2018.5月)	2018年度 (2018.6月～2019.5月)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素計	Kg-CO <sub>2</sub> /年	482,930	421,208	
	・電力の二酸化炭素排出量		73,862	79,226	
	・ガソリン・軽油等の二酸化炭素		256,037	205,331	
	・灯油、LPG等の二酸化炭素		153,031	136,651	
廃棄物排出量	一般廃棄物	t/年	4	4	
	産業廃棄物		2,919	6,558	
	(再資源化率)	%	98.86	98.98	
総排水量	総排水量	m <sup>3</sup> /年	546	1,346	
地域貢献活動の実施	地域貢献活動の実施	回/年	11	11	
グリーン購入	事務用品グリーン購入の徹底	%	100	100	
化学物質	化学物質の管理推進		適正管理・定期確認	適正管理・定期確認	



#### 2. 環境目標の設定

当社では、2016年6月～2017年5月までを基準年度として2019年度までの環境目標を、それぞれ【表2】のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

当社の決算月に合わせ、毎年6月～翌年5月までの1年間を年度としております。

【表2】…基準年度(2016年度)比の削減(増加)率(%)

項目		2017年度 (2017.6月～2018.5月)	2018年度 (2018.6月～2019.5月)	2019年度 (2019.6月～2020.5月)	中長期目標 (2021年度目標)
二酸化炭素 排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
	建設副産物の再資源化の推進(再資源化率)	+0.2%	+0.4%	+0.6%	+1.0%
総排水量の削減	総排水量の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
地域貢献活動の実施	地域貢献活動の実施(減少率)	0%	0%	0%	0%
グリーン購入	事務用品グリーン購入の徹底	100%	100%	100%	100%
化学物質	化学物質の管理推進	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。			

### 3. 環境目標の実績

当社における、2017年6月から2018年5月までの実績についての評価結果を報告いたします。

【表3】…当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年実績 (2016年度)	2017年度			環境目標の 達成状況	
			削減(増加)率	目標値	実績値		
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素計	Kg-CO2/年	482,930	△1.0%	478,101	421,208	○
	・電力の二酸化炭素排出量		73,862	△1.0%	73,123	79,226	×
	・ガソリン・軽油等の 二酸化炭素排出量		256,037	△1.0%	253,477	205,331	○
	・灯油、LPG等の 二酸化炭素排出量		153,031	△1.0%	151,501	136,651	○
廃棄物 排出量	一般廃棄物	t/年	4.0	△1.0%	4.0	4.0	○
	産業廃棄物(再資源化率)	%	98.86	+ 0.2%	99.06	98.98	×
総排水量	総排水量	m <sup>3</sup> /年	546	△1.0%	541	1,346	×
地域貢献 活動の実施	地域貢献活動の実施(減少率)	回/年	11	0%	11	11	○
グリーン購入	事務用品グリーン購入の徹底	%	100	0%	100	100	○
化学物質	化学物質の管理推進		化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。			○	

※ 環境目標の達成状況 … ○:目標達成 △:基準値より減少(増加) ×:目標未達成

(注)二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.556kg-CO2/kwhです。

#### 【是正処置等】

- ・電力の二酸化炭素排出量は増加しているが、ガソリン等含めた全体では十分に目標を達成している。また、総排水量については大幅に増加しているものの増加の原因をきちんと把握出来ているので、それほど問題は無い数値になっている。
- ・エコアクションへの取り組みも長くなり、数値の増減は微小なものとなっているが、個々の取り組みへの意識は確実に定着しているので今後も継続していく。

## IV. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1. 環境活動計画、取組結果とその評価

【表4】…主な環境活動計画の内容

項目	活動内容	評価	取組結果と今後の方向
二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	△	削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。現場数・場所により大きく変動。異常値の原因把握。事務所2階照明のLED化実施。(H28.1月)事務所1階照明のLED化実施。(H29.4月)事務所1階照明のLED化実施。(H30.4月)
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	○	削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。現場数・場所により大きく変動。異常値の原因把握。ハイブリットカー(営業用)購入(H28.5月)ハイブリットカー(リース×2台)導入(H28.12月)
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	○	削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。現場数・場所により大きく変動。異常値の原因把握。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	○	削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。
	産業廃棄物の削減	△	ゴミの分別・適正処理は徹底している。産廃量は工事種別により大きく変動。異常値の原因把握。
総排水削減	総排水量の削減	△	削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。異常値の原因把握。今期は工種による使用量増。
地域貢献活動の実施	地域貢献活動の実施	○	毎月のゴミ拾い実施。イベント前のゴミ拾い実施。今後も継続して実施。
購入環境物品の推進	環境物品の購入促進	○	グリーン商品の購入徹底。
化学物質の削減	化学物質の管理推進	○	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。

※ 取組結果の評価 … ○:評価できる △:まずまず評価できる ×:評価できない

## 2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減
現場数や工事場所により目標の設定が難しいが、取組への意識は定着しているので活動を継続していきたいと思います。 工種や工程等による異常値に関しては、原因の把握を徹底していきたいと思います。
(2) 廃棄物排出量の削減
(1)に同じ。 建設副産物に関しては、数値を収集しながら再資源化率を目標とし活動を継続していきたいと思います。
(3) 総排水量の削減
(1)に同じ。
(4) 地域貢献活動の実施
今後も、地域イベント等機会があれば積極的に活動していきたいと思います。
(5) グリーン購入
事務用品に関しては、グリーン購入を徹底していきたいと思います。
(6) 化学物質
化学物質を適正に管理し、定期的を確認したいと思います。

## 3. 環境活動及び地域貢献活動の状況



月一 朝ボランティア清掃



アップルマラソンコースボランティア清掃 H29.9.26

## V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

## VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

現場における各数値の大きな動きに関しては、原因をしっかりと把握し削減可能かを検証して少しでも削減できるよう取り組んでもらいたい。

2010年にエコアクションの認証を取得して以来、継続して取り組むことによりここ数年は数値の減少も少なくなっているが、取り組み当初に比べると大幅に減少しているのは確かなので、今後も目標設定をし、出来る限り環境負荷低減に向けて活動に取り組んでいきたい。